

国語

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「マ」とあるものはマークシート問題、「記」とあるものは記述式問題です。マークシート問題・記述問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所に解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを「ひらがな」で書きなさい。

記1 実力を培うことこそが難関突破の絶対条件である。

記2 他のスタッフの悪評を吹聴してまわることは慎みたい。

記3 薬剤の飲み合わせの禁忌に配慮しなくてはならない。

記4 組織内の綱紀肅正をはかる。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 背く「そむく」

マ2 萎える「おびえる」

マ3 帰依「きえ」

マ4 極意「きよくい」

マ5 絵空事「えくうじ」

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ6 批判的意見に対してコウベンする。「1」硬弁 「2」行弁 「3」抗弁

マ7 多年にわたりコンイにしている知人の助力を得る。「1」懇意 「2」今意 「3」魂意

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 シュウチを集めて問題解決の方策を探る必要がある。

記6 実習に持参すべきものをシュウチ徹底するよう責任者に指示する。

記7 シュウチ心を捨ててかからねばならない事態が発生した。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの語群からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

記8 失墜

記9 敏速

記10 興奮

記11 駆除

記12 逸材

【語群】

ア. 昇天    イ. 挽回    ウ. 許可    エ. 延着    オ. 緩慢  
カ. 凡才    キ. 漏洩    ク. 鎮静    ケ. 解放    コ. 撲滅

第6問 次の慣用表現の空欄に入るもつともふさわしい語句をあとの語群からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ8 「」をなめる

〔1〕苦勞    〔2〕苦渋    〔3〕苦杯    〔4〕苦悶

マ9 青筋を「」

〔1〕引く    〔2〕なでる    〔3〕返す    〔4〕立てる

マ10 合いの手を「」

〔1〕打つ    〔2〕引く    〔3〕たたく    〔4〕握る

第7問 次の語句の意味としてもつともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ11 等閑視する

〔1〕物事を軽くみて放っておくこと    〔2〕のんびりと時間を過ごすこと

〔3〕相手を公平に扱うこと    〔4〕事態を冷静に観察すること

マ12 琴線に触れる

〔1〕怒りの感情を引き起こすこと    〔2〕貴重な物品を手に入れること

〔3〕他人のプライバシーに踏み込むこと    〔4〕感銘や共感の感情を与えること

第8問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもつともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することはできません。

記13 苦しいときに世話になった恩師には今でも「」が上がらない。

記14 グルメで知られる友人は「」が肥えている。  
記15 痛くもない「」を探られるのは気分が悪い。

第9問 次の傍線部のかなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ13 おうへい（横柄）な態度

マ14 じょうちよお（冗長）な発言

マ15 りずめ（理詰め）で話す

第10問 論述には、常に論理的に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがありま  
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなけれ  
ばマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、  
叙述の内容が実社会の現実と合っているとばかりません。

マ16 この専門学校の実習用白衣は業者が指定されている。この実習服は業者が指定され  
ていない。ゆえにこの実習服は白衣ではない。

マ17 婦人科がある医療施設はA市では駅周辺にある。A市のこの病院には婦人科がない。  
ゆえにこの病院は駅周辺にない。

第11問 次の二つの文の論述内容が同じである場合にはマーク欄「1」を、同じでない場合  
にはマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ18 ① A市の高齢者施設はすべて歯科検診がある。

② A市で歯科検診があるのはすべて高齢者施設である。

マ19 ① この患者のリハビリは必ず偶数日に実施される。

② この患者は偶数日には必ずリハビリが実施される。

第12問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

入社試験であれ、重要な仕事であれ、何かを前にして不安な緊張にかられることがある。  
多かれ少なかれ、そういう時は、誰だって失敗するのではないかという恐れをもち、不安  
な緊張にかられる、しかし、その度合のひどい人と、イザという時に集中できる人とがいる。  
この両者の違いは決定的だが、どうしてこの差が出てしまうのだろうか。

それは幼い日、周囲がわれわれに失望したかどうかということから出てくる。そして、こ  
れこそが、この問題を考える出発点なのである。

幼い日、われわれは周囲の人の自分に対する反応によって、自分自身を判断した。周囲の反応、ことに親の反応は、自分を映す鏡であり、その鏡に映る自分を自分と考える。

幼少の頃、親に失望された人は、自分自身に失望する。

親の期待を実現しそなうて、親に失望された子どもは、成長してからも、他人の期待を実現しそなうと、他人に失望されると感じてしまう。そして、何かを試される時は、他人に失望されることの恐怖に、不安な緊張を覚えるのである。

すぐ「かたくなる」人というのは、自分の小さい頃をふり返ってみれば、それを理解できないのではなからうか。

幼児期に自分の行為ひとつで、他人があからさまに称賛したり失望したりした原体験をもった人がいる。そのような人は、成長してからも、自分の行為によって自分に対する他人の愛が変化したり失望されると感じてしまう。

部屋をかたづけたことで親からほめられ、部屋をかたづけずにいたことで親から叱られる。ここまではどこでも同じである、問題は、部屋をかたづけないで叱られた時、叱られたにもかかわらず、それでも子どもが、自分は親に愛されていると感じられたかどうかなのである。

成績が悪ければ親に叱られる。問題は、成績が悪くて親に「もっと勉強しろ」といわれても、それでも自分は愛されていると感じていたか、そうでなかったかということなのである。この感じ方の違いが決定的なのである。

親に落胆され、ため息などつかれて、ありありと失望の色をあらわされた子どもは、きつと感じるだろう、自分が愛される条件は、部屋をきちんとかたづけることであり、いい成績をとることであると。

子どもの頃は誰でも親に叱られる。問題は、子どもが叱られても親に愛されていると確信できていたかどうかということである。

すぐに不安な緊張を覚えてかたくなる人、他人の反応に歪んだ敏感さをもつ人、これらの人々は、小さい頃叱られた時、自分は愛されていないのだと感じた人である。

子どもの頃親のいっつけを守り、従順な「よい子」であることが、親の愛を獲得する条件だと感じていた人が、すぐに「かたくなる」のである。

周囲に受け入れられている人が失敗すること、受け入れられていない人が失敗することとは、まったく意味が異なる。受け入れられていない人は、失敗するかもしれないと思えばストレスを感じるであろうし、失敗すればそれに苦しむであろう。

同じ叱るという行為が、どうして子どもに違った影響を与えるのか。

それは親の情緒の成熟の問題である。つまり、親が自律性を獲得しているか、まだ依存心が強いということである。

別の言葉でいえば、親が自分の心の満足を他人の言動に求めているかどうかということである、親が自分の心の空しさを他人に満たされるのを期待しているかどうかということである。

自分が必要だと思っているものは、他人を懐柔したり脅かしたりしてでも得ようとする人がいる。

親がこのような人間であれば、子どもは叱られることによって深く傷つく。

親の必要とする愛を子どもが与えなければならぬ時、子どもは自由を感じることができない。親が自分自身に頼って生きようとしている時、子どもはありのままの自分であることが許されると感じる。

われわれは大人になってからでも、どうもあの人というときがある。それは、押しつけがましい人、つまり、他人の言動によって自分の心の空しさを満たそうとしている人と一緒にいる時である。

子どもは、大人とは比較にならないほど敏感である、しかも、まったく無力である。

自分の生存を全面的に他に依存している人に、心理的に依存された子どもの重圧感というのは、想像を絶するものがある。子どもに心理的に依存する親の内容というものを考えると、寒けさを感じる。

つまり、そういう親は依存心が強いから、他人の眼を気にする。自己中心的、利己主義、自分だけが可愛い、卑怯なのである。

しかも、自分の心の空しさを子どももの言動で満たそうとして、子どもにベタベタしながら、それを子どもへの愛と錯覚している。

自分の心の空しさを満たすものを他人の言動の中に求める人は、結局満たされることがないから、いつまでも他人に不満で、かつ心は空しい。

そして、いつまでも満足を求めて他人にまわりつくのである。

#### 加藤諦三『自分を嫌うな』三笠書房

マ20〜25 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ20 部屋をかたづけなくても部屋をかたづけなくても、いつでも親から叱られる経験をする  
と、親というものを信じていることができなくなる。

マ21 自分自身を頼りに生きることをしていない親から心理的に依存された子どもの重  
圧感、想像を絶するものである。

マ22 他人の眼ばかりを気にする親は、自分だけが可愛い依存心の強い人間である。

マ23 親から叱られてばかりいた子どもはだれしも、大人になってからも同じように叱ら  
れることによって深く傷つくようになってしまう。

マ24 同じように叱ったとしても子どもに異なる影響を与えることには、親が自律性を獲  
得しているかどうかに関係している。

マ25 親から落胆され、失望の表現を向けられた子どもは、他人に不満ばかり抱き、空し  
い心を抱えた大人になってしまう。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

認知症という言葉よりも、「痴呆」や「ぼけ」という言葉のほうが馴染みのある人もいると思います。認知症という言葉は、二〇〇四年に、それまで使われていた痴呆や痴呆症という言葉に代わって使われるようになりました。痴呆という言葉が、認知機能の低下などの実態を正確に表しておらず、「ア」的であるという意見もあり、名称が変更となったのです。日常的な用語としては、ぼけという言葉もよく使われてきました。「あそこのおじいちゃん、最近ぼけてきてしまった」というような言い方は、①。

同時に、ぼけや痴呆が、加齢にともなう自然の変化のようなニュアンスがあるのに対して、認知症という言葉は、病気の名前として、「イ」的なニュアンスが強いように私には思えます。

これには、背景となる事柄もあります。認知症の治療薬（進行を一時的に抑制するもの）が登場したのは、一九九九年です。それまで、認知症の人に対して病院でできることは、認知症にともなう現れる精神症状に対して、対症療法として薬を出すことくらいでした。しかし、一九九九年以降は、認知症に対する薬があると言えるようになりました。もちろん根治する薬ではありませんし、症状の進行を抑制する作用も、多くの認知症の当事者や家族が期待するほど大きなものではありません。それでも、認知症になったら、②ということが盛んに言われるようになりました。二〇〇〇年代に入ってから、加齢にともなう変化ととらえられてきた事柄が、病気であるという認識が広まってきたのです。

認知症は病気であるという認識の広まりには、よい面と問題な面があります。

ぼけや痴呆と呼ばれていた時代には、認知症は、病気というよりは、加齢による変化あるいは、パーソナリティーの変化ととらえられていました。当時のバラエティー番組には、認知症の人を「ウ」にしているであらう、ちよつと「変わった人」が登場していました。今ならば認知症にともなう症状ととらえることを、パーソナリティーの変化ととらえることは、当事者や家族にとって、よりつらいことではなかったかと思えます。

それが、認知症という名前に呼び方が変わり、それと前後して医療の対象となることで、パーソナリティーの変化ではなく、病気による症状なのだという理解が広まったことは、本人や家族、身近な人たちにとって ③ だと思います。認知症の当事者たちが、みずからを語るようになったのも、ちよつとこのころからです。現在、認知症とともに生きる人、認知症とともによく生きるといふようなテーマ設定がなされるのも、認知症は病気であるという認識の広まりを「エ」にしていると思います。

問題となる面のひとつが、病気ならば、医療者がなんでも解決できるはずで、一般の人たちにできることはほとんどないというイメージを作ってしまったことです。認知症の人や家族の持つ生活課題や困りごとを、医療がなんでも解決できるはずがありません。特に専門知識がなくても、認知症を持つ人と接することはできますし、地域のなかで普通に暮らすためには、ごく一般の人の考えや行動が鍵になります。

しかし、認知症と聞くと、私は勉強不足なのでわかりませんというような答えが返ってくることも多く、何か「オ」を習得しないと考えてはいけない、行動してはいけないものになってしまっています。<sup>A</sup>自分たちの問題ではなく、誰か専門知識を持った人が解決してくれる問題になってしまったことは、大きな負の側面と言えると思います。

特に認知症とかかわりの少ない人々のあいだには、病気ならば、先のように医療がなんとかしてくれるはずだというイメージが強くあります。私がディレクターとして番組を作った時にも「注1」、医療が主なテーマでなくても、認知症のことを扱う場合、スタジオゲストに医師を呼んで、総合的な<sup>B</sup>カンシユウをしてもらうようにお願いをすることがよくありました。これは、多くの人が、医師が言うことであれば、<sup>C</sup>④傾向があり、番組を作る際に、医師を呼んでおいたほうが<sup>C</sup>ブナンだろうという制作側の考えもあったと思います。

しかし（中略）、ほとんどの生活課題は、当事者や家族、そしてそこにかかわる商品サービスを提供する企業や、生活課題に近い医療福祉の専門職などがかわることで解決に近いっていくのではないかと思います。

徳田雄人『認知症フレンドリー社会』岩波新書・新赤版 1749

「注1」筆者は以前、NHK（日本放送協会）のディレクターだった。

マ 26 空欄 ① に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 「1」 決してしてはいけません
- 「2」 現在もされています
- 「3」 一部の人しか使いません
- 「4」 使う場面を選びます

マ 27 空欄 ② に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 「1」 ひどくなる前に身辺整理をしましょう
- 「2」 人生はもうおしまい
- 「3」 自分や家族でどうにかするしかない
- 「4」 病院に相談しましょう

マ 28 空欄 ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 大きな希望となったこと
- [2] もはや致命的なことになった
- [3] あきらめのきつかけとなった
- [4] さらにつらいことだった

マ 29 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] そこから知識を得ようとする
- [2] 疑ってはならないと考える
- [3] もうあきらめがつくと判断する
- [4] その通りだと思ふような

マ 30 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- |            |        |           |         |        |
|------------|--------|-----------|---------|--------|
| [1] 「ア」 因習 | 「イ」 心理 | 「ウ」 ベース   | 「エ」 目的  | 「オ」 技術 |
| [2] 「ア」 懐古 | 「イ」 診療 | 「ウ」 パターン  | 「エ」 背景  | 「オ」 学問 |
| [3] 「ア」 蔑視 | 「イ」 医療 | 「ウ」 モデル   | 「エ」 下敷き | 「オ」 知識 |
| [4] 「ア」 比喩 | 「イ」 学術 | 「ウ」 ルーツ   | 「エ」 前提  | 「オ」 技能 |
| [5] 「ア」 嘲笑 | 「イ」 科学 | 「ウ」 ターゲット | 「エ」 根拠  | 「オ」 態度 |

記 16 傍線部 A 「自分たちの問題ではなく、誰か専門知識を持った人が解決してくれる問題」  
題になつてしまったことは、大きな負の側面と言えらると思ひます」とあるが、何に  
いての「負の側面」なのか、本文中より一八字で書き出しなさい。

記 17 傍線部 B の「カンシュウ」を、文脈にふさわしい漢字に書き換えなさい。

記 18 傍線部 C の「ブナン」を、文脈にふさわしい漢字に書き換えなさい。

記 19 本文全体の内容を要約しなさい。解答は「〇〇文字以上」「二〇〇文字以下」で記すこ  
と。句読点も一字分とします。冒頭の「字下げ」は不要です。